

一粒の麦 場面三

# 女性医師への決意



吟子が医師になると決意したきっかけは、結婚して不慮の病に倒れ、女性の医師がいなくて辛い思いをしたことです。

写真と解説はイメージです。史実と異なる場合もあります。

1870(明治3)年、吟子は病気で協議離婚(19歳)、師の松本萬年の紹介で大学東校(現 東京大学医学部)の付属病院に入院することになりました。約2年間の入院を余儀なくされました。吟子は、男性の医師に診察される経験に羞恥と屈辱を覚えることに共感し、自身が女性医師となる決意をしました。